

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、 米国債指数シリーズを拡大

日本の市場参加者に利回りと分散効果を提供するように設計された
新たなベンチマーク

東京、2016年8月31日：世界有数の金融市場指数プロバイダーの1つであるS&P ダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)は2016年7月7日、S&P 米国債 7-10年指数(日本円仲値(TTM))及びS&P 米国債 7-10年指数(日本円仲値(TTM)ヘッジ付き)の算出を開始しました。これらの指数は、米国債市場にアクセスするための代替的ソリューションを日本の市場参加者に提供するように設計されています。両指数は、本日東京証券取引所に上場された上場投資信託(ETF)のために日興アセット・マネジメントにライセンスが付与されています。

両指数は、7-10年償還の米国債のパフォーマンスを測定するように設計されており、日本円で算出されます。S&P 米国債 7-10年指数(日本円仲値(TTM)ヘッジ付き)は、1ヶ月為替先渡取引を通じて為替エクスポージャーをヘッジすることを目指します。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの債券部門のヘッドである James Rieger は、次のように述べています。「低金利環境が続く中で、日本における多くの機関投資家は、利回りの源泉や、ポートフォリオの分散効果を模索しています。日本の市場参加者に対して高利回り資産のソリューションを提供するETFにおいて、S&P DJIの米国債券指数がベンチマークとして採用されていることを光栄に思います。」

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに関する詳しい情報については、www.spdji.com をご覧ください。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数ベースのコンセプトやデータ、リサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業であり、S&P 500[®]及びダウ・ジョーンズ工業株平均[®]といった金融市場の代表的指標を算出しています。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。1,000,000 超の指数や、革新的で透明性のあるソリューションを120年以上にわたり構築してきたことにより、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、投資家が市場を測定し、売買する方法を定義しています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、S&P グローバル (NYSE: SPGI)のグループ会社であり、個人や企業、政府が確信をもって意思決定を行う上で不可欠な情報を提供しています。詳しい情報については、www.spdji.comをご覧ください。

詳しい情報をお求めの方は、以下にお問い合わせください:

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

牧野義之

日本オフィス統括責任者

(+81) 3 4550 8564 – office

index.tokyo@spdji.com

Cecilia Ho

アジア太平洋地域コミュニケーションマネージャー

(+852) 2532 8061 – office

cecilia.ho@spglobal.com